

個別事例調書「ぐんまの風景を魅せるインフラ整備」(スキルアップチャレンジ)

区分
道路(郊外部)

R5年度完成	事業名：社会資本総合整備(防災・安全)(地方道防災) 落石防護柵工
--------	-----------------------------------

所属・係名	中之条土木事務所・三原事業所工務係
-------	-------------------

1. 事業概要

【路河川名】主要地方道 東御孺恋線
 【事業箇所】吾妻郡孺恋村大字田代地内
 【概要】
 杭式落石防護柵工 L=153.0m H=3.5~4.0m

(主)東御孺恋線は、長野県東御市のしなの鉄道滋野駅から地蔵峠を越えて、群馬県孺恋村の国道144号へ至る道路である。



2. 現場の特徴【ステップ1】

- ・自然が豊かな山間部であり、眺望景観が臨める。
- ・周辺には湯の丸スキー場や鹿沢温泉があり、複数の旅館などの施設がある。

3. 事業目的【ステップ2】

- ①現場から何を見せるのか
防護柵を目立たせず、周辺景観(木々や花)を見せる。
- ②どこから現場自体を見せるのか
道路利用者(歩行者、自転車、自動車)から見せる。
- ③目指すべき目標像
浅間山をはじめとする山々と広大な野菜畑などが一体した高原風景と調和する眺望景観を確保するとともに、湯の丸スキー場や鹿沢温泉へアクセスする道路として、また訪れたいくなる、走りたくなる道路を創出する。

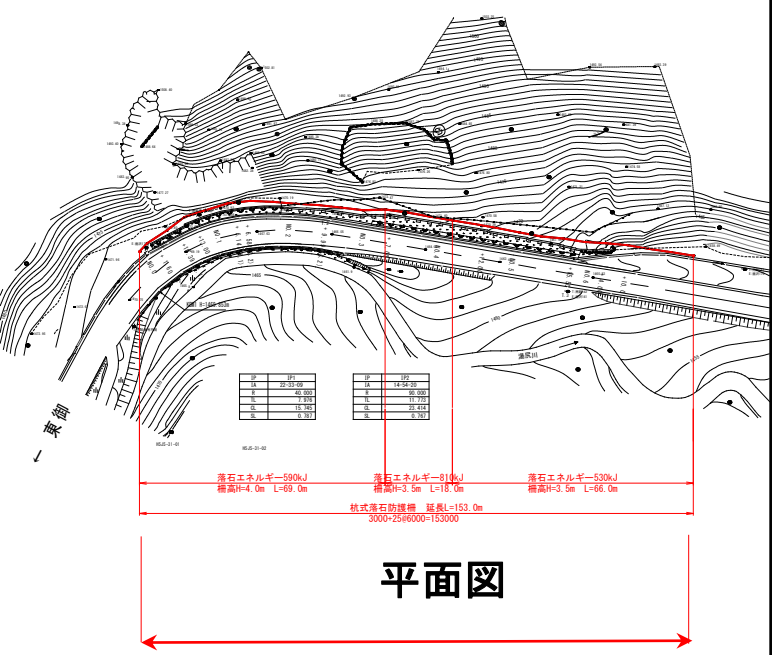
4. 配慮内容【ステップ3】 <完成(整備前後の写真やコメント等)、計画済・計画中(想定される内容)>



【整備前】



【整備後】
環境色の防護柵



- 防護柵が周辺環境と調和するようにダークブラウン色を採用。
- 杭式防護柵を採用することにより、従来工法(擁壁+防護柵)よりも圧迫感をやわらげ、背後地の木々や花の視認性を向上。